

不登校生のアメリカ留学 -体験談とケーススタディ-



Institute of Global Education (IGE)

目次

1. 体験談のサマリー
2. 不登校生にとって、アメリカ留学が効果がある理由
3. 日本の不登校生、引きこもりの実態
“渡米後の聞き取り調査結果”
4. アメリカの不登校生事情

1. 体験談のサマリー

(1) A.A. 君

(2) S.F. さん



A.A. 君

- 渡米2004年8月
- 渡米時20才
- 引きこもり歴:2年
- 引きこもり理由:
大学受験3年連続失敗

- 語学留学1年半を経て
- 2006年1月より、Saddleback College入学
- 2008年より、医学部を目指す

A.A. 君、渡米前の状況

- 高校は私立受験校在学
- 現役、浪人、合わせて3年連続して医学部受験失敗

- 不登校、引きこもりになり、部屋でゲームの毎日
- 勉強は完全に放棄
- 友達にも誰にも会いたくない…

- 親から相談を受け、留学を薦める
- 1年という契約で留学を説得

A.A. 君の留学

1. ホームステイのすすめ

- 他人との共同生活
- 日常の事は自分の手で
“挨拶、自炊、買い物、支払い、
掃除、洗濯・・・”

目的

- 社会性を育てる
- 自主性を育てる
- 失敗こそ貴重な体験

2004年8月渡米時 ホームステイ先にて



A.A. 君の留学、2. 語学学校

勉強

- 語学の勉強は世界を広げる
- 目的を持って、きちんとした生活をする
- 成績に関してはプッシュしない
- 自分のペースで勉強することが大事

友達づくりを積極支援

- 異国の地で友達と夢を語る
- 世界中の色々な友達との交流が新しい自分を発見

A.A. 君の留学

3. 現地責任者との信頼関係の構築

- 家族的なスキンシップ！
“学校、昼食、パーティ、食事会、飲み会・・・”
- 聞いてあげる（70%は聞く）
- ダイアログ・・・話しあう
- 過剰なケアはしない。失敗も経験

*** IGEは、最後に踏ん張れる場所 ***

*** 我々がついているから大丈夫 ***

A.A. 君の留学

4. 大学進学のカウンセリングとサポート

信頼関係が築けたら、
アメリカの大学進学のカウンセリングを
徐々に始める

- 日本だけが人生じゃない
- アメリカの大学はA.A.君に向いている
- サポートするから一緒に頑張ろう
 - ** 常に激励
 - ** 家族的な暖かさを絶やさない
 - ** 勉強(英語、エッセイ)の指導

ホームパーティ 英語レッスン 日米文化交換









S.F.さん

- 渡米2003年1月
- 渡米時17才
- 不登校歴:2年
- 不登校理由:
 - 中学より過食、拒食を繰り返す
 - 高校を退学
- 高校留学するも、自殺未遂により退学処分に
- 激励と心理カウンセリングにより蘇生
“州の大検に合格”
- 現在、コミカレ2年生

S.F.さん、渡米前の状況

- 中学から拒食、過食を繰り返す
- 中学時代から不登校に
- 高校に入学するも、不登校に
- 高校1年で退学
 - ** 父親とは、中学1年の時から口をきかず
 - ** 躁鬱の気があり、精神的に不安定
- 親から相談を受け、高校留学を薦める
- アメリカのオープンマインドな環境で、やり直したいという本人の希望
- ロス郊外の進学私立校に留学

S.F.さんの留学

1. 高校留学(寮生となる)

- 留学後、見違えるように明るく
 - ** 高校生活をエンジョイ
 - ** アメリカが合っている
 - ** 勉強に励み、成績も伸びる
- 日本での不登校が信じられない
- 父親と4年目にして初めて口をきく

1年後

- 期末試験でトップクラスを狙うまでになる
 - ** ハードな勉強
 - ** 英語でもネイティブに負けたくない
- しかし、この気持ちがプレッシャーに
- 試験中に睡眠薬多量摂取
 - ** 病院に搬送
 - ** 自殺未遂と判断され、退学に

S.F.さんの留学

2. 高校退学後

- 日本の水が合わないS.F.さんに以下を提案。両親も受諾。

CHSPE (大検) を取得して大学進学

* IGEが勉強指導

心理療法士 (サイカイアリスト) の治療を受ける事

IGEが親代わりとなって、生活改善

S.F. さんの留学

3. 大検合格と大学入学

- 2004年5月、5ヶ月で大検合格！
IGEとの勉強でスピード合格！
- 2004年9月、
Orange Coast College入学
- 同級生と同じ時期に大学入学！
- 2006年9月、州立大学入学
- 専攻、International Business

2004年秋、Orange Coast College合格祝い
ロスのレストンにて、平田ファミリーと







2. 不登校生にとって 留学が効果がある理由

・・体験を通じた分析・・



理由-1. 親と離れる事

IGE

- ・親ではない公平な第三者
- ・プレッシャーが無い関係
- ・保証人としての責任ある立場
- ・子は心を開き、信頼関係の構築

子

保証人から、常に公平な
意見が親に行く

離れて生まれる
親への感謝

現地に責任ある
組織と人の存在
が条件！

親

- ・親は子の見えない
部分分かる
- ・親自体にも変化が

理由-2. アメリカの教育環境

- 個性と自由な発想を尊重した社会と教育
 - 人と違うのが当たり前の社会
 - … 異質を受け入れる大きな許容力
 - 個人の考えを尊重 = 個人の考えを否定しない
 - … 答えは一つではない
- 学業、スポーツ、文化(知性、体、心)のバランス教育
 - … 大学合格基準
 - GPA、SAT、エッセイ、課外活動で評価

理由-2. アメリカの教育環境

- ディベート教育を通じた自己の確立
 - 表現 = Express 外に押し出す
 - 押し出すためには、内面に「自己」が必要
 - 自己は、単に習ったり暗記では作れない
 - 考える力を養成 = モノマネではない自己を創る
- 教師と生徒の距離が近い
 - 教師がいつも正しいとは限らない
- 勉強の選択肢が多い ”夢が近い“

理由-3. アメリカという社会環境

- 心を開く大自然 自然は人間と友達
- 思わず言葉を交わすフレンドリーな社会
- 異質を受け入れる許容力
他人の目を気にしなくてもよい社会
伸び伸び社会
- 自己責任の社会
- 自立社会・・・自分でやらなければ
生きていけない

理由-4.英語を学ぶと世界が広がる

- 語学は国境を越えて、人を結びつける
- 世界の友と知り合える事の単純な驚き
- 日本の様なルールに縛られない中での心の触れ合い
- 人生を語り、夢を語る、……
- 相互影響、触発

- 自分を見つめる事ができ
- 夢、目標、使命が生まれる

理由-5.あせらなくても良い

- 日本の受験時期、友達の進級・・・
 - 1, 2年遅れても人生に関係ない
 - 時代は、「競争社会」から「実力社会」に！
 - 情報化時代の次は、創造化時代！
独創性、創造力がキメ手になる時代
 - 競争のための競争より、実力を！
 - 受験のための勉強より、勉強の楽しさを

理由-6. Small Achieve

- 小さくても目標達成による、喜びと自信
- 目標(例):
 - TOEFLの目標を達成した
 - 英語でディカッションに参加できた
 - ネイティブの友達ができた
 - 英語で買い物ができた
 -

理由-7:現地に信頼できる組織と人の存在

- 過剰なケアは避ける = 関心を持って見守る
- やるのは本人！独立心が生まれるやり方
- 失敗は経験、失敗は前進
- 家族的な触れ合い = 愛されている、認められている
- 聞いてあげる・・・聞くが80%、話すは20%
- 決断のための、価値的なアドバイス

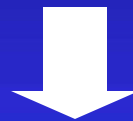
- IGEは、最後に踏ん張れる場所

- 我々がついているから大丈夫

確信

激励

対話



- 自分も変われるかもしれないという期待感が生まれる

- 大丈夫、変われるよ！
** こちらの確信が相手に伝わる

アメリカのKey Words

- アメリカは「開」の義
- 「開」は蘇生

3. 日本の不登校生、 引きこもりの実態

****渡米後の聞き取り調査結果****

不登校生は：

これという処方箋を見つけるのが難しい・・・

親との関係で何らかの問題

- 対話が無い
- 親子の信頼と安心が薄い
- 子供の話を聞かない
- 一方通行のコミュニケーション
- 子供のサインに気がつかない
- 勉強中心の画一的評価、競争評価
(誰々は塾に・・・
(誰々は をやっている・・・

学校が面白くない

- 成績中心の画一的評価
- 受験中心の画一的授業、学園生活
- 競争至上主義・・・他人より上か下か
大人社会にも蔓延

** 興味を満足させる仕組みが少ない

** 時代は多様化しているのに、学校は
変わっていない。(例)情報化 創造化時代

** 他との違いを認めない学校、家庭、社会

いじめ

- いじめは、大人社会の反映
- 学校、家庭の無関心のため増長

アイデンティティーが希薄

- これが自分だ
- これは、自分に任せて
- 「自分」がある人は、他との係わり合いが
持てる

友達が少ない

親と子の評価が異なる

- 大人の決め付けは厳禁
- 自分でも原因が分からないこともある

無関心社会

- 大人社会の無関心
- 教師の生徒への無関心
- 子供同士の無関心

**** 関心を持って見守る事が重要**

本当は、皆、何とかしたいと思っている！

- きっかけが欲しい
- でも日本では見つけ難い
- 周りは煩いし、世間の目も・・・

誰も知らないアメリカでリセット！
という側面も

- 自分が変われるかも知れないという
期待感
- 我々の激励と確信で留学を実行

4. アメリカ不登校生事情

“Early School Leave”

不登校の原因は、日本とは異なる： 不登校率：11-25% (主に公立高校)

原因：

- 人種と居住地区による
 - 地域差、居住区により大きな差がある
 - ヒスパニック、黒人に多い

例： 州別少 CT, VT, NE, MN, ND
州別多 AZ, GA, SC, MS, LA

郊外より、都市部に多い

- 家族の原因・・・親の離婚、同棲、再婚、
教育への無関心
- 不法移民(約200万人以上)
不法 合法移民(約1000万人??)
- 貧困
- 犯罪
- 妊娠

CA州の調査による不登校生の内訳

- 40% ドラッグ販売に関与
- 25% 仕事を持つ
- 18% 子供がいる
- 16% 犯罪に関与

不登校生支援システム

- 学校にカウンセラーが常駐
但し、公立高校では不足が目立つ
- ドロップアウトした場合の支援システム
 - Home School
 - Continuation School
 - Vocational School
 - Technical School
 - Community College
 - CHSPE (大検)

不登校生防止策

親子のモラル向上

- 校則への署名
- 宿題や翌日の準備を徹底、指導
- 生徒の定期カウンセリング
- 親のカウンセリング
- 三者面談(生徒、親、学校)
- スポーツ・プログラム参加の奨励
- …

不登校生防止策

罰則

- 校則違反者の退学 Cont. School転入
- 運転免許の没収(州別)
- 16才以下の労働許可無発行(州別)
- 強制ボランティア(州別)
- 親に対する罰金(州別)
- 親の逮捕(州別)
- ...

留学の方法



留学の方法

語学留学

高検(必要であれば)

専門学校留学

コミカレ留学

専門課程、4大編入過程

4大留学

大学院留学

インターン、企業研修、ボランティア

引きこもり、不登校生の 典型的な留学コース

語学学校

大検



コミュニティカレッジ

入学条件

- 高校卒業
- TOEFL



4大編入



就職

4大編入枠が法律で規定





